

EU Indicators

欧州経済指標コメント：3月ドイツZEW景況感

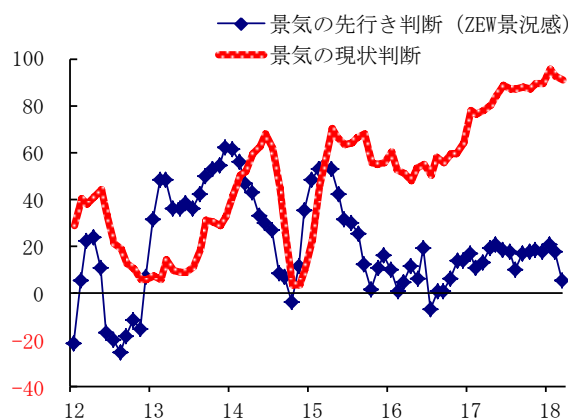
発表日：2018年3月20日(火)

～貿易戦争を警戒～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

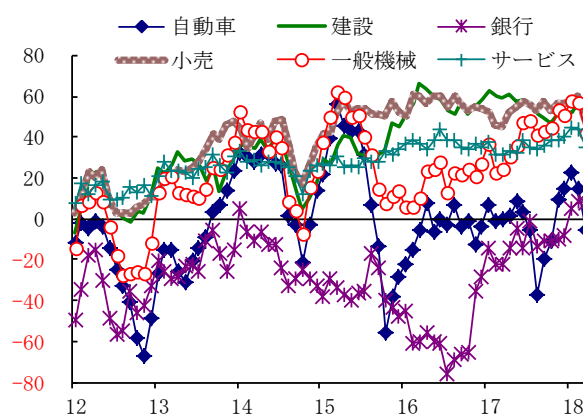
- ・ 3月のドイツのZEW景況感（金融市場参加者の半年先の景況感）は+5.1と前月から12.7ポイント悪化し、2016年秋以来の水準に低下した。単月の落ち幅としては英国のEU離脱投票直後の▲26.0ポイント以来で、業況判断の分岐点であるゼロに接近。現況判断は+90.7と歴史的な高水準を維持しているものの、こちらも2ヶ月連続で低下した。
- ・ 調査票の回収日は3月5～19日と、米トランプ政権が鉄鋼・アルミニウムに対する追加関税の方針を発表した直後の時期と一致。保護主義・貿易戦争に対する警戒感やドル安・ユーロ高基調に加えて、中国景気の減速懸念やイタリアの政局不安も市場参加者の業況悪化につながった可能性がある。
- ・ 先行きの景況感はドイツ以外の調査対象国（ユーロ圏、米国、日本、英国、フランス、イタリア）でも前月から揃って低下。現況判断もマイナス幅がやや縮小した英国を除いて前月から低下した。また、業種別の業況判断は、公益を除く全セクターが前月から低下。銀行、保険、建設、通信、サービスの低下幅が限定的だった一方で、鉄鋼、自動車、機械、電機、化学、小売、通信の低下幅が大きかった。
- ・ 現況判断が高水準を維持しており、ドイツ景気がこのまま本格的な下降局面に入る可能性は低いが、為替や金利などでみた金融環境が引き締まる方向にあり、景気にも徐々に減速感が広がってこよう。

■ドイツ：景気の現状・先行き判断



出所：ZEW

■ドイツ：ZEWの業種別景況感



出所：ZEW

■ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2017				2018				2018											
	2Q	3Q	4Q	1Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
ZEW景況感（先行き）	19.6	14.8	17.9	14.4	20.6	18.6	17.5	10.0	17.0	17.6	18.7	17.4	20.4	17.8	5.1					
現状指数	84.0	87.0	88.4	92.7	83.9	88.0	86.4	86.7	87.9	87.0	88.8	89.3	95.2	92.3	90.7					
Ifo景況感（総合）	114.5	115.9	117.2	—	114.8	115.3	116.2	116.1	115.4	116.9	117.6	117.2	117.6	115.4	—					
現状指数	123.4	124.9	125.0	—	123.9	124.5	125.9	124.9	123.9	125.0	124.6	125.5	127.8	126.3	—					
先行き指数	106.2	107.5	109.9	—	106.5	106.8	107.3	107.8	107.4	109.3	111.0	109.5	108.3	105.4	—					
PMI製造業指数	59.1	59.3	62.1	—	59.5	59.6	58.1	59.3	60.6	60.6	62.5	63.3	61.1	60.6	—					
サービス業指数	54.9	54.1	54.9	—	55.4	54.0	53.1	53.5	55.6	54.7	54.3	55.8	57.3	55.3	—					

出所：ZEW、Ifo、IHS Markit